

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「口腔領域における腫瘍の進展・増殖機構関連因子の病理組織標本を用いた解析」に関する 研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様にご覧いただき、研究内容を正しく理解していただくためのものです。なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長 水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2025年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2006年4月1日から2021年12月31日までに福岡歯科大学医科歯科総合病院口腔外科にて口腔扁平上皮癌の手術を行い病理診断科で診断を行った患者さんが対象です。年齢が満20歳未満の方や、切除済みの組織が小さく追加試料が作製できない方は対象から除外いたします。

目標症例数は150例です。

この研究において、ご自身の診療情報や試料等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

口腔機能の低下は著しい生活の質の低下につながります。その原因の一つとして口腔癌があげられます。その治療においては抗癌剤療法が著明な効果を上げていますが、その一方で副作用の存在や抗癌剤への耐性による癌の再燃が問題となってきています。本研究において癌の増殖に関わる因子を検索することで新たな治療法の可能性を探ります。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、既に採取し診断に使用した病理組織標本を用います。病理標本から遺伝子やタンパク質の発現状況を調べます。そのため、新たな検査や費用の負担をおかけするものではありません。病理標本内の組織でのタンパク質や遺伝子の量を調べますが、この研究ではあなたの子孫に受け継がれる可能性のあるゲノムや遺伝子に関する情報は明らかにせず、また偶発的に明らかになる可能性もありません。

〔取得する情報〕

年齢、性別、癌の種類、部位、転移の有無

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた試料は、研究終了後、福岡歯科大学生体構造学講座病態構造学分野において同分野の吉本尚平の責任の下、5年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学生体構造学講座病態構造学分野において同分野の吉本尚平の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた試料・情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。その場合、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただくことがあります。その際には、改めて倫理審査委員会において研究計画の倫理審査を受けます。承認されましたら研究計画について情報公開した後に研究を実施いたします。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、保有する個人情報のうち、ご本人等からの求めに応じて、ご本人との確認をさせていただいた上で情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	福岡歯科大学 生体構造学講座病態構造学分野
研究責任者	福岡歯科大学 生体構造学講座病態構造学分野 講師 吉本 尚平

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 生体構造学講座病態構造学分野 講師 吉本 尚平 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 1685) 〔FAX〕 092-801-4909 メールアドレス：yoshimoto@college.fdcnet.ac.jp
---------------	---

(作成日：2021年12月21日 最終修正日：1月26日)